



記録によれば、青洲が手術を手掛けた患者数は143人とされる。この多くの実体験をベースに、周囲ではともすると病気だけを見て、生きた患者を診ない医療の姿勢を厳しく戒めました。

「内外合一」「活物窮理」などの本質を説き、青洲の住居兼医院・医学校の「しゅんりん けん春林軒」には、1,800名を超える人々が門戸を叩き、その教えを受けたといます。

「内外合一」とは

外科を行うには、内科、すなわち、患者の全身状態を詳しく診察して、十分に把握した上で治療すべきである。

「活物窮理」とは

治療の対象は生きた人間であり、それぞれが異なる特質を持っている。そのため、人を治療するのであれば、人体についての基本理論を熟知した上で、深く観察して患者自身やその病の特質を究めなければならない。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.